



組立て・取扱説明書

miniたき火ストーブ No.81064082

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用
いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、
大切に保管してください。

■ ご使用前に

- ① パーツ類の破損、溶接外れなどがないか確認する。
※破損が見つかった場合は使用しないでください。
特に、ガラス窓にひび割れなどがある場合、熱によ
り割れるおそれがあるため、ご注意ください。
- ② 革手袋などを着用する。
③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。

使用上の注意

- 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



警告

火災のおそれあり

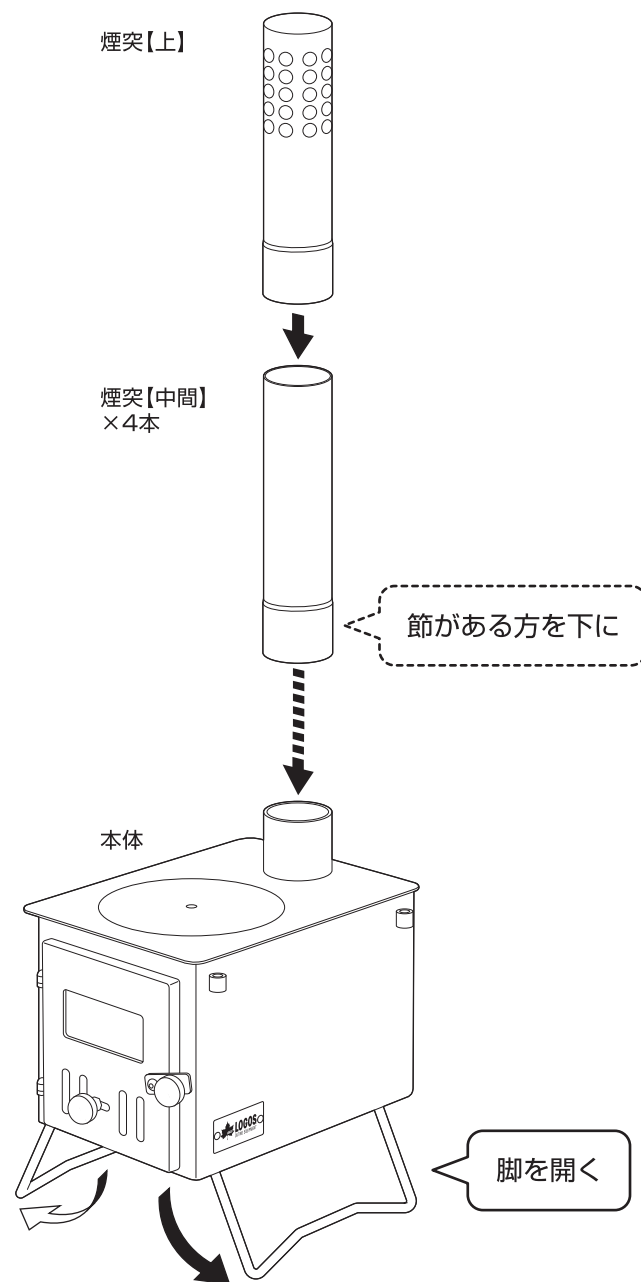
- 屋内などの換気の悪い場所、テント内、タープの下では使用しない。
(火災や一酸化炭素中毒のおそれ)
- 常設のストーブとして使用しない。
- 煙突の上方に何も無いことを確認する。
- ジェル状着火剤は使用しない。
(灰受けに落ちると燃え広がり、火災、やけどのおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 灰などがこぼれ落ちることがあるため、焦けてもよい地面に設置する。
- 屋内やテント内に煙が入らないように注意する。(一酸化炭素中毒のおそれ)
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体が冷えたことを確
認してから行う。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 起伏や傾斜がない所に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- 着火後は目を離さない。

やけど、けがのおそれあり

- 着火後は、本体を移動させない。また、素手では絶対に触らない。
- 着火後は、煙突の先端に顔や手などを近づけない。
- 着火後は、本体が完全に冷えるまで灰受けを取り出さない。
- 燃えやすい物の周りで使用しない。(火の粉などが飛ぶおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、革手袋などを着用し、
やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 本体に水をかけて消火しない。
(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどの
おそれ)
- 鋭利な部分があるため、洗浄時はゴム手袋などを着用する。

組み立て方法

図にしたがって、下から順に組み立ててください。

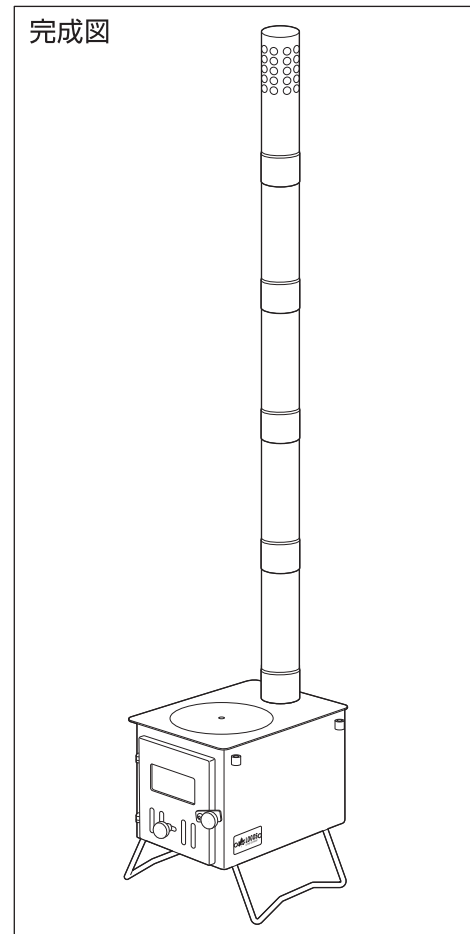


注意



- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、
お手入れなどの際は、必ず革手袋を
着用する。
(やけど、鋭利な部分でけがのおそれ)
- 洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。
- 煙突は、必ず着火前に取り付ける。
(やけど、熱膨張で着脱できなくなるお
それ)

完成図

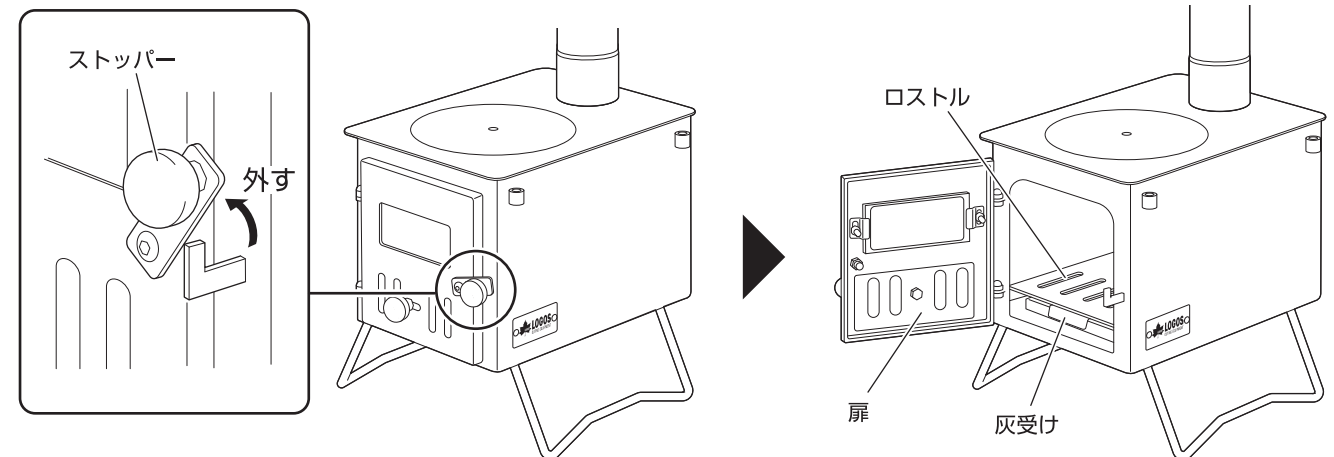


※煙突はご使用に応じて取り付ける本数を調整できます。
取り付ける本数が多いと、燃焼効率が上がります。
※煙突は、本製品に付属のものを使用してください。

使いかた

1 ストッパーを外して扉を開く

- 灰受けとロストルがセットされていることを確認する。



2 薪を入れて着火する

- 太い薪→焚き付け(枯葉や小枝などの燃えやすい物)→細い薪の順に積み上げる。
※詰め込まずに、空気の通り道を作るように入れてください。
- 柄の長いライターなどで、焚き付けに着火する。



注意

- 薪は、十分に乾燥したものを使用する。
(水分が残っていると、破裂したり、燃焼効率が悪くなりススや
タールが多量に発生するおそれ)

Point

- 薪は、15cm前後のものを使用してく
ださい。
※別売の「薪(15cm)(No.83101352)」
が最適です。(予告なく販売終了する場
合があります)
- 焚き付けを薪の投入口付近に置くと、
着火しやすくなります。

続きは裏面を見てください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
- 本体やパーツは熱により変形や変色、表面の剥がれなどが発生します。ご了承ください。

Designed by LOGOS CORPORATION

発売元: 株式会社 ロゴス コーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13

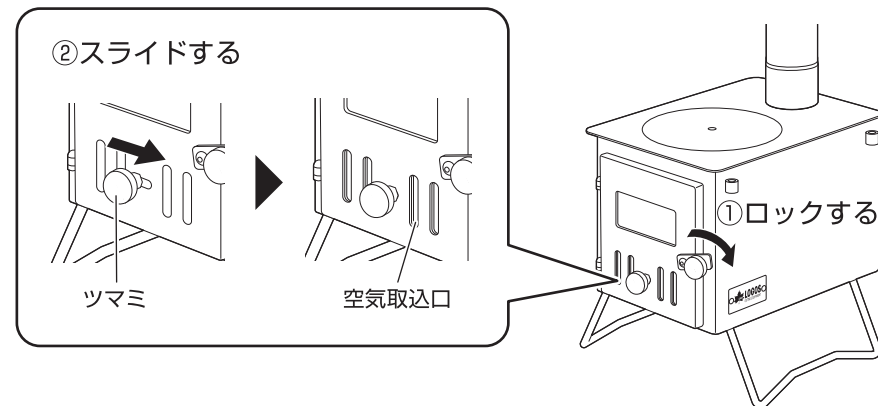
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ ホームページ / www.logos.ne.jp ■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

2024/12 HT

3 扉を閉めてストッパーをロックし、空気取入口を全開にする

- ツマミを右にスライドする。



- 使用中、スパークアレスター(煙突先端の穴)から炎が噴き出る場合があるため、顔や手を近づけない。
- 煙突の上方に何も無いことを確認して使用する。(火災のおそれ)
- ※炎より上も高温になるため、ご注意ください。
- ※日中は炎が見えにくいいため、特に注意してください。

4 炎が収まり薪が真っ赤になったら(熾火の状態)、薪を追加する

- 薪を平らにならして、太めの薪を追加する。
- 空気取入口の開き具合を調整する。
炉内の温度を上げたいときは大きく、下げたいときは小さく開く。
- 火を消したいときは、火ばさみなどで熾火を細かく碎き、空気取入口を完全に閉める。



- 使用中に本体が変形した場合は、直ちに空気取入口を完全に閉めて消火し、製品の使用を中止する。

Point

- 使用中、ガラス窓にはススが附着します。
日中は中の様子が見づらい場合がありますので、ご了承ください。
薪を追加するときに、薪の平らな部分で内側を優しくこすると、ススを取ることができます。



- 使用中に扉を開閉するときは、必ず耐熱性の革手袋を着用する。(やけどのおそれ)

直火で調理する

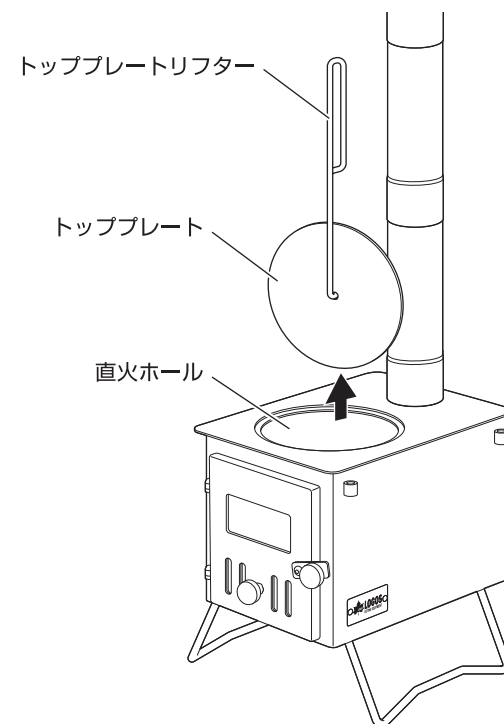


注意

- トッププレートを取り外すときは、必ず革手袋を着用し、トッププレートリフターを使用する。
- 取り外したトッププレートを素手で触らない。また、子どもが誤って触れないように注意する。(やけどのおそれ)
- 直火ホールから直接薪を追加しない。

■トッププレートを取り外す

- トッププレートリフターの先端をトッププレートの穴にひっかけて持ち上げる。



ストーブ料理を楽しむ！



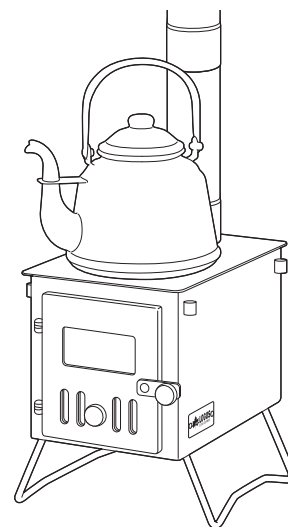
注意

- 調理器具は、本体に確実に載せ、安定していることを確認する。
- トッププレートや直火ホールに、重すぎる調理器具を置かない。
(本体が転倒し、火災やけがのおそれ)

- トッププレートを外すと、直火で調理できます。
- 下記の調理器具は使用しないでください。
 - ・直火ホールの直径(約15cm)より小さいもの(落下、破損の原因)
 - ・樹脂素材のパーツが付いているもの(パーツが溶ける原因)

Point

- トッププレートを取り付けたまま本体に調理器具を載せると、直火調理に比べて低い温度で調理できます。
その際は、アルミ製など熱伝導率の高い調理器具を使用してください。



撤収方法



注意

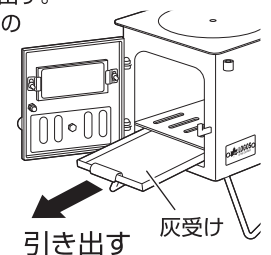
- 燃料が燃え尽きた後、本体やパーツが完全に冷えたことを確認してから撤収する。
(やけど、パーツが変形し着脱できなくなるおそれ)
- 灰を捨てるときは、必ず耐熱性の革手袋を着用する。(やけどのおそれ)

1 煙突を取り外し、お手入れする

- 煙突の内壁に附着したススやタールなどを、柄の長いブラシなどでこすり落とす。

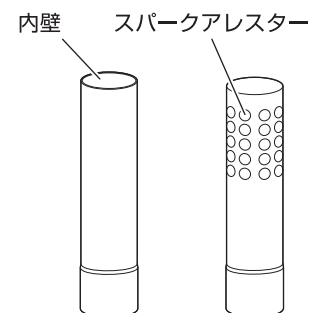
2 灰受けを引き出し、灰を捨てる

- 灰受けの取っ手にトッププレートリフターをひっかけて引き出す。
 - 灰が多い場合はロストルも取り出し、炉内に残った灰を金属製のスコップなどでかき出す。
- ※ロストルは、斜めに持ち上げて出し入れします。



煙突のお手入れのPoint

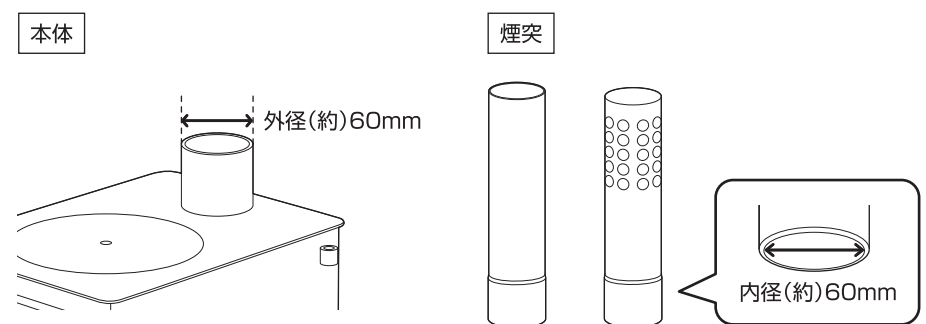
- 使用後は、毎回必ず煙突をお手入れしてください。
煙突の内壁にススやタールなどが多量に附着したまま使用すると、煙道火災や不完全燃焼が起こることがあります。
煙道火災は、煙突内部が非常に高温になり、周囲を巻き込む火災や破損などの重大な事故につながるため大変危険です。
- ※万が一煙道火災が起こったときは、直ちに空気取入口を完全に閉めて消火し、製品の使用を中止してください。
- 使用に伴い、煙突【上】のスパークアレスターが目詰まりすることがあります。目詰まりしている場合は、ブラシなどでよく取り除いてください。



注意

- お手入れ時、煙突のフチなどの鋭利な部分で手や指を切らないように注意する。

煙突の寸法について



※記載の寸法はあくまで目安であり、個体差がある場合がございます。ご了承ください。